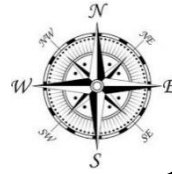


羅針盤



太秦中学校
進路指導部
2月25日 No.173
松田成司

中期選抜確認書を配布しました

昨日、公立前期選抜の発表がありました。合格した人は、おめでとうございます。中学校生活はまだ残っているので、しっかりとした中学校生活を送ってほしいと思います。さて本日、「公立中期選抜の確認書」を配布しました。昨日の発表で、残念だった人で、この後どうするかを考えてほしいと思います。期日は2月28日(月)の朝学活までとします。

<令和4年2月24日現在>

令和4年3月中学校及び特別支援学校中学部卒業予定者の進路希望状況
[京都市・乙訓通学圏の公立高等学校全日制「普通科」中期選抜(第1順位)への志望状況]

京都府教育委員会・京都市教育委員会

というのを、本日配布しました。これは、昨日時点での京都市・乙訓地域の公立中学校・義務教育学校・特別支援学校中学部を卒業する予定の生徒の、京都市・乙訓地域の公立高等学校全日制「普通科」中期選抜への志願状況について、2月24日時点で集計したものです。

注意)山城・口丹・中丹・丹後地域の公立中学校は対象外です。

「専門学科」については、発表はありません。

表の中の「募集人数」というのは、中期選抜において募集する数が記載されています。

(全体の募集人数) - (前期選抜での合格者)

志願者数は、全日制「普通科」を中期選抜の第1順位で志望する生徒の数です。

(第2順位や第2志望の数は含まれていません。)

また、単位制による普通科について(山城、洛北、日吉ヶ丘、鳥羽)、通学区域の調整による他の通学圏からの志願者数は含まれていません。

この用紙を見て、何を考えるのかというと、自分の行きたい高校は第1順位にあると思います。これは変える必要はないと思います。なぜなら、それ以外に変えるということは、自分が行きたくない学校に入学することになってしまうからです。ですから、これを見て考えるのは、第2順位や第2志望のところになると思います。もしも第1順位の高校がダメだったら、併願校の私学に入学する人はいいのですが、どうしても公立高校で決めたいと考えている人は、第2順位や第2志望のところに高校名を書かなければならなくなってきます。その時は、次に行きたいところを第2順位に記入してください。第2順位はどうやって決まるのかは、以前お話ししたように、下位10%の募集人数を第1順位で書いている人と第2順位で書いている人を混ぜて、上から決める方法です。なので、第1順位の上から90%でギリギリ受かった人よりも、第2順位から回ってきた人の方が、成績が上のことが出てくるのです。そして、第2志望に書いて有

効なのは、定員割れをする学校です。それ以外は意味がありません。ということで、この資料を使い、第2順位、第2志望のところをもう一度考えて、中期選抜確認書の提出をお願いします。時間がないので、期限には絶対遅れないようにお願いします。

府立高校が第1順位の人、28日(月)に印鑑を用意してください。

選抜方法(全日制課程)

※定時制課程については、選抜要項でお示しします。

